

木造家屋建築工事における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	バルコニー下地作業中に溝に足を入れてしまい、足を滑らせ転倒し、手摺下地部分に腹部を強打して強い痛みが生じ、肋骨3本を骨折した。	59	—
1	14～15	建物内の地下工事の場所で、床材（60kg）を現場地下から地上に運んでいるとき、転びかけて右肘を負傷した。	23	—
3	10～11	リフォーム工事現場において碎石を入れる堆積をしていたところベースの穴（深さ10cmくらい）に足を落として右足を捻り、足首を骨折した。	60～9	1
3	11～12	新築工事現場にて、テラス土間から材料を取りに行く時、40cmぐらゐの高さの土間から降りたとき、足元に石ころがあるのに気付かず、石ころを踏み転倒し右足首を痛めた。	57～9	1
4	13～14	補修現場にて養生ネットを取りに行く際に、石（3cmくらい）の上に足をのせてバランスを崩し、左足首を骨折した。	41～9	1
4	11～12	足元の悪い土間で解体作業中、段差があり足を捻った。	54～9	1
4	11～12	リフォーム工事に於いて現場内を移動中に、10cm程度の段差に足を挫き（右足）骨折に至った。	52～9	1
		個人宅工事のための事前視察に伺い、家屋周辺の調査をしていたとき、塀の外にあ	30	

5	12～ 13	る30cm程の段差を登ろうとした際に躓き、前方地面へ転倒し、水路の蓋に手を着いて負傷した。	42	～ 49
7	9～10	一般住宅の雨樋取り替え作業中に軒樋を持っていて樋の端がつかえてバランスを崩して石垣の上から下の道路に足から落ちて左足踵を骨折してしまった。	59	～ 29
7	11～ 12	工事現場にて材料を運搬中、段差で転倒して左膝を強打した。	70	～ 29
10	9～ 10	現場内歩行中に、段差で左足を強くくじいた。（床コンクリートと砂利の境目）左足をくじいた時、ブチッと音がして、歩行が出来なくなった。（床コンクリートと砂利の境目には少々段差あり。）	41	～ 9
10	18～ 19	現場の片付けが終わり、玄関の戸閉まりを確認して、帰る時に養生された玄関前から平らにならされていない地面との段差に足を踏み外して転倒し、左足首を捻挫した。当時、日も暮れて暗くなっており、足元が見えない状況でした。	28	～ 9
11	8～9	仕上げ部署ベルパック帯掛け機にて、品物を帯巻き作業している最中に事故が発生した。品物の帯がほどけ、ばらけた品物を集めている最中に、次の品物が流れて右手を機械に挟み込んでしまった。	73	～ 9
12	17～18	作業場の片付けをしている時、南側倉庫前にて、廃材を分別作業中、廃ガラスを両手で持ち、かごへ移動しようとした時、側にあったアルミ廃材が足にからまり転倒し、その際、近くにあった石に膝を強打した。	43	～ 9
12	8～9	キャリア運転中、里道でキャリアを止めて倒れているところを発見された。	63	～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html